



<Amo l'Italia のあまり、ワイナリーまでたどり着いちゃいました>

第41回に横浜会場で受験(4級合格)していた者です。

イタリア語とは、20年も昔の2000年、安価な団体旅行で初めてイタリア旅行のプランを立て、少しは話せた方が楽しいかと某局のテレビイタリア語を見た時からの付き合いになります。歴史が好きで、遺跡、教会、美術館、政庁舎、広場等々に感激していましたが、もう一つ、ワインにも驚いていました。当時、ワインには、少々放置すればすぐに酸っぱくなり、その割には結構高額、など良い印象持っていませんでした。が、あっさり心変わり。それ程?の料理と、同じくそれ程?のワインの組み合わせが実に美味しく感じられることが度々あり、ワインは貴族のための高級品、であるより、庶民が人生を楽しむ知恵の結晶と考えるべきでは?と認識が変わりました。それが現在に至る最初の伏線です。

その後、度々のイタリア旅行。より楽しむためにイタリア語の学習も続け、アグリジェントのあるホテルでは「神殿が見えて浴槽がある部屋が良いのですが?」(確か「Vorrei una camela con la vasca da bagno, anche e e... con la vista di il tempio.」など)と、間違いながらも日本人がイタリア語で注文付けてきた!と驚かれ、ヴェネツィアのトラットリアの胡散臭いカメラエーレからは、「さてはイタリア人の恋人がいるな?」(詳細は忘却。が、彼らの表情と「ragazza」程度の単語が聞き取れれば間違ふ余地なし)とあらぬ 旅行の集大成:ダニエリにて疑い?をかけられ、家族からは遊んでばかりいないで検定受けたら?なんて唆されましたが、その時は挫折。やはり旅行会話だけでは検定合格は難しいと痛感したものです。



その後、いつのまにかワインの占める部分が広がり、他方では自分の価値観と仕事とのギャップは広がり続け、ついにパフォーマンス低下が会社の目に止まる事態に!結果は明らかですね。途中は端折りますが、一念発起。それまでの人生で張られた数々の伏線を回収し、入社当時は楽しいと感じていたはずのソフトウェア開発を辞め、ワイン産業に携わることを決断。検定合格はちょうどその頃のお話です。

山梨のとあるワイナリーに転職。社長は実に親切にしてくれたのですが、慣れない仕事で無理をして、残念ながらワインのタンクから転落して骨折入院。退院してもデスクワークしかできない日々。でも、そのおかげで酒税法や帳簿の付け方を教えて頂き、今に繋がる下地ができます。ただ、組織には色々な人がいるもの。今まで通り作業ができないなら、どこかに行け!という方もおり、酒税法上必要かつ面倒な書類を書いている、役所への届け出が如何に大変かわきまえない、心ない言葉に傷付くこともしばしばでした。

そんな頃、マイクロワイナリー(規模が小さく個性的なワインを醸造)を並べたワイン村建設のプロジェクトの話を聞き、参加を決意。自分のワイナリーを作る活動開始です。我ながら無謀とも思いますが、骨折の後遺症もあり、周囲と同じペースで動くのが苦しいものの、何とか動ける。では自分のペースで働ける環境を作れば良い!と、かなり無茶したと思います。すっかり動けなくなったわけでもなし。まだまだやれるのだから、もっとあがいてみるに決まってるじゃないですか?

しかしこのプロジェクトもトラブル続き。まずは、イタリアでも定番の埋蔵文化財問題で足踏み。敷地全体の開発事務を請け負った測量会社にスキルがなく、提出する書類も不備だらけで、ことごとく行政に却下されやり直しの連続。加えて道路の中心線の測量を間違ふは、側溝の勾配間違いで水が溜まるは、もう大変!挙句の果てに書類と違うものが完成してやり直し工事で1年半あまり遅延。市役所・県庁には、嘆願、確認、もしくは催促で訪問した回数数知れず。と思えば、遅れて完成したのは正にコロナ禍真っ只中。今度は融資を快諾していたはずの金融機関が先行きを悲観して、今になってまさかの掌返しの融資拒否!?トラブル尽きないプロジェクトをなんとかここまで綱渡りしてきました。



やっと完成した私のワイナリーは「Casa Watanabe」と言います。全てが一目で見通せるマイクロワイナリー。是非遊びに来てください。この会報誌を持って来た方には何かサービスしますよ!



最後に大好きな諺の一つ。「Campa cavallo, che l'erba cresce.」「待てば海路の日和あり」みたいな感じですが、私が午年でもあり、この生きるか死ぬかの瀬戸際の強烈さが好きです。「生きる、馬! そのうち草も生える!」そうです!きっと草が蒼青と茂る季節も巡ってくるのです!こんなところで終わるなんて勿体無いこと、できませんよね? こんな今こそ、多くの方々に届けたい諺です。

Casa Watanabe 代表 渡邊哲也

<3 級のツボ「関係代名詞と条件法」>

(今回の検定対策は『イタリア語文法 これが知りたかった! 入門・初級&中級・上級』(フィオレンツァ・マルケージ監修)の著者、高橋祥子先生に執筆していただきました)

実用イタリア語検定 3 級は、4 級と比べて出題される文法事項も多岐に亘りますが、その中でも、比較の出題回数の多い関係代名詞と条件法を確認しましょう!

1. 関係代名詞^{※1}

関係代名詞とは、文の中の特定の名詞に、それが「誰なのか」「何なのか」などの説明文をつなぐ働きをします。[名詞]+[関係代名詞]+[動詞]という文の構造において、名詞が、その後続く動詞の主語、直接目的語、間接目的語のいずれに当たるかを考えるのが最大のポイントです。次の文は、関係代名詞を使って Anna が誰であるのかを説明しています。下線部に入る関係代名詞は何でしょう?

- (1) Lei è Anna _____ lavora con me.
(彼女は、私と一緒に働いているアンナです)
 - (2) Lei è Anna _____ ho invitato a casa mia.
(彼女は、私がうちに招待したアンナです)
 - (3) Lei è Anna _____ lavoro.
(彼女は、私が一緒に働いているアンナです)
 - (4) Lei è Anna _____ insegno il giapponese.
(彼女は、私が日本語を教えているアンナです)
 - (5) Lei è Anna _____ imparo l'italiano.
(彼女は、私がイタリア語を習っているアンナです)
 - (6) Lei è Anna _____ ti ho parlato ieri.
(彼女は、私が昨日あなたに話したアンナです)
 - (7) Lei è Anna _____ sono innamorato.
(彼女は、僕が恋をしているアンナです)
 - (8) Lei è Anna _____ ho molta fiducia.
(彼女は、私がとても信頼をおいているアンナです)
 - (9) Lei è Anna _____ conto molto.
(彼女は、私が頼りにしているアンナです)
- 【解答】 (1) che (2) che (3) con cui (4) a cui (5) da cui (6) di cui (7) di cui (8) in cui (9) su cui

Anna と後に続く動詞との関係性を考えます。

- (1) lavora con me 「私と働いている」のは Anna なので、Anna は動詞の主語。主語は che でつなぐ。
- (2) ho invitato 「招待した」の主語は「私」誰を招待した? 「Anna を」。よって Anna は動詞の直接目的語。直接目的語も che でつなぐ。che は、名詞が動詞の主語か直接目的語にあたる時にしか使えません。(3)以下は、Anna が動詞の間接目的語になりますので、che は使えず、「前置詞+cui」になります。
- (3) lavoro 「私は働いている」誰と? 「Anna と」「と=con」なので、con cui。
- (4) insegno 「私は教えている」誰に? 「Anna に」「に=a」なので、a cui。
- (5) imparo 「私は習っている」誰から? 「Anna から」「から=da」なので、da cui。
- (6) ho parlato 「私は話した」誰について? 「Anna について」「について=di」なので、di cui。
- (7) sono innamorato 「私は恋している」誰に? 「Anna に」essere innamorato di~ 「~に恋している」は di を伴う熟語なので、di cui。
- (8) ho fiducia 「私は信頼をおいている」誰に? 「Anna に」avere fiducia in~ 「~に信頼をおく」は in を伴う熟語なので、in cui。
- (9) conto 「私は頼りにしている」誰を? 「Anna を」contare su~ 「~を頼りにする」は su を伴う熟語なので、

su cui。

(3)~(6)は、各前置詞の用法からどれを入れるべきか推測できますが、(7)~(9)は、常に決まった前置詞をとる熟語ですので、セットで覚えておくしかありません。

以上を踏まえると、次の問題はもうお分かりですね?

<第 49 回 2019 年秋季>

N32 La persona _____ ho chiesto di controllare il mio computer è un tecnico specializzato.

a) che b) di cui c) a cui d) per cui
ho chiesto di ~ 「私は~するようにお願いした」誰に? 「La persona に」。「~にお願いする」の「に」は a なので、c) a cui。なお、「前置詞+cui」の中で、a のみ省略できるので、答えの候補が cui だけの可能性もあります。

2. 条件法過去^{※2}

条件法過去の用法は、大きく分けて 2 つあります。

- ①過去において実現しなかったこと、あるいは、これから先、実現しないと分かっていることを表す。
 - ②過去のある一点を起点にして、それより未来のこと(過去における未来)を表す。
- 検定では、特に①の「過去において実現しなかったこと」がよく出題されていますので、押さえておきましょう。

条件法過去の形は、「avere あるいは essere の条件法現在+過去分詞」。

「過去において実現しなかったこと」なので、「(本当は) ~するところだった、~したかった、~すべきだった」という内容になり、多くの場合、その後「でも~しなかった、~できなかった」という文が続きます。

Sarei dovuto andare dal dentista, ma non avevo tempo.

(歯医者に行かなければいけなかったのだけど、時間がなかった)

後に「でも……」という文が続かなくても、条件法過去を使うことで、実際にはそうしなかったことが言外に分かります。

Avresti dovuto mettere meno zucchero.

(砂糖をもっと少なくするべきだったね)

Da giovane mi sarebbe piaciuto vivere all'estero.

(若い頃、外国に住んでみたかった)

また、al posto tuo/mio 「あなたの/私の立場だったら」という決まった表現の後には、必ず条件法になります。

Al posto tuo non gliel'avrei detto.

(あなたの立場だったら、私は彼にそのことを言わなかっただろう)

<第 49 回 2019 年秋季>

N40 Ti _____ volentieri una mano per il trasloco, ma ieri sono stato occupato tutto il giorno.

N40 a) darei b) ho dato c) avrei dato d) avevo dato
「引越しのために、喜んで君に手を _____、でも昨日は一日中忙しかった」という意味が取れば、_____ は、(手を)貸すところだった(が、実際には貸せなかった)よって条件法過去 c) avrei dato であることが分かります。

※1 ※2 『イタリア語文法これが知りたかった! 中級・上級 (デザインエッグ社、Amazon でオンデマンド販売)』の第 24、31 課に詳しい解説が出ていますので、ご活用下さい。

<日本のメディアが報じなかったコロナ禍のイタリア>

春先のイタリアにおける、新型コロナウイルスの感染拡大の悪夢は、イタリア語を学び、イタリアを愛する私たちにとってはあまりにも辛く、目も当てられない惨状でした。日本でもイタリアの感染状況はメディアで連日大きく報じられていましたが、日本の感染拡大により、今ではすっかり報じられなくなってしまいました。私は、イタリアのサッカーの記事を書き、またコロナ禍に陥ってから、テレビ局で、イタリアのコロナ関連の通訳・翻訳の作業を担っていました。テレビ局では伝えられなかったこと、また伝えておきたいことをこの場を借りて、お伝えしたいと思います。

イタリアに衝撃が走ったのは2月21日。北部ロンバルディア州ローディ県コドーニョという私たち日本人だけでなく、イタリア人にとっても耳慣れない小さな町に、新型コロナウイルスのクラスターが発生する。イタリアは1月30日、中国から入国した旅行者2人が感染していることが明るみに出ると、政府はその翌日には中国との航空便を停止させ、非常事態宣言を発令した。それ以来、感染拡大をうまく封じ込み、政府の対応は機能して

いるように見えた。ところが、コドーニョの感染発覚で事態は激変する。日に日に感染者は激増し、3月の半ばには、連日、数百人が命を落とし、医療が崩壊寸前の危機的状況に陥ってしまった。そのコドーニョで初めて罹患したイタリア人というのが、37歳のマッティーア・マエストリさんだった。私にとって驚きだったのは、実名で報じられていたことだ。日本では、職業だけで



『Sportweek』誌の表紙を飾るマエストリさん。屈強なアスリートがコロナウイルスで重症化したことは衝撃だった。

なく年齢も伏せられていたことが多かっただけに、記事に名前を見つけたときは、まさか実名だとは思えなかった。それゆえ、やはり誹謗中傷は絶えなかったようだ。そのマエストリさんは感染前に「中国人と夕食を共にした」と報じられていたが、これは虚報だった。「搬送を拒否」「週に2回もマラソンをこなすスーパーマン」という報道もフェイクだった。「マラソンはやるが週に2度も走らない」と後で怒りを示している。妊娠していた奥さんのヴァレンティーナさんも感染していたものの、幸い無事に2人目となるお子さんを出産した。しかし、マエストリさんの父、モレーノさんは、コロナとの戦いに打ち勝つことができずにこの世を去り、愛孫との対面を果たすことは叶わなかった。マエストリさんは、フルマラソンをこなし、3時間後半代で走破できるランナーとしては98キロと異例の“重量級”だったが、2月下旬に退院する際には80キロまで体重が落ちていた。18キロの体重減が、凄まじい闘病生活であったことを物語る。セミプロのカテゴリーでサッカーも経験。今でも頑強な肉体を誇り、まだ30代後半と若い年齢だったこともあって、健康体そのもののマエストリさんがコロナウイル

スに感染し、そして苦しんだことは、多くのイタリア人を震撼させ、コロナで重症化するのには高齢者や基礎疾患のある人だけではないということを十分に知らしめることとなった。

「Andrà tutto bene. Restate a casa.」このメッセージを目にし、SNSに投稿した方も多いただろう。「全ては上手く行く。家にいよう」という意味だ。実は、このメッセージを最初に発信した人物は、サッカー選手だった。サッスオーロでプレーするフランチェスコ・カブートが、3月9日に開催されたブレッチャ戦でのゴール後にみせたパフォーマンスによるものだ。得点後にベンチにかけより、スタッフから用紙とペンを受け取ると、素早くペンを走らせ、それをテレビカメラの前に掲げて「危機を共に乗り切ろう」と呼びかけた。それから、このシンプルなメッセージは、感染拡大の脅威と立ち向かうイタリアのスローガンとなり、ロックダウン中は、一般人だけでなく、医療関係者も頻りにこのメッセージをSNSに投稿した。カブートは、その後、8月27日に



3月10日の『Gazzetta dello Sport』紙の一面。「Andrà tutto bene」のメッセージはメディアでも大きく報じられた。

イタリア代表に初招集されることとなり、彼自身に限っては「すべてが上手く行く」こととなった。33歳2か月でのイタリア代表初招集は、史上2番目の遅さだ。10月7日に行われたモルドヴァ代表との親善試合では初得点も決め、こちらは最年長記録となった。諦めることなく、夢を追い続けてきたことは多くの人に勇気を与えるもの。スローガンだけでなく、遅咲きの点取り屋の存在そのものが、勇気付けられるものだ。そのカブートは、メッセージを掲げた経緯をこう振り返っている。「妻から電話があつてね。『得点したら、何かやったらどう？世の中はこんなに厳しい状況なんだから、何かメッセージでも出したら？』って言うんだ。もう試合の1時間前で、最初は何をしたらいいかなんて思いつかなかったけど、突然閃いたんだ。スタッフに、『僕がゴールしたら用紙とペンを渡して欲しい』ってね」。一瞬の閃きが、これほど多くの人たちに愛される言葉になるとは本人も露にも思わなかっただろうが、その用紙は自宅に大切に保管され、あの酷い日々を忘れないために、額装も考えているそうだ。

一時は欧州最大の感染源となってしまったイタリアだが、感染者数が下降線をたどり始めた5月下旬からは、欧州の中で“比較的”感染者は抑えこまれていた印象だった。しかし、10月になって再び感染拡大の様相を呈してきており、楽観視はできない。同15日には、感染者が過去最高の8000人にまで達してしまい、予断は許されない状況となってしまった。これから、再びウイルスの流行が懸念される冬を迎える。「Tutto è andato bene. (すべてが上手く行ったね)」と言える日が一日も早く訪れるようにただただ祈るだけだ。

[コロナウイルス関連ワード]

第 51 回イタリア語検定試験では、すでにコロナウイルスに関連する問題が出題されています。今後も収束するまでは、出題される可能性があるため、関連用語についてはインターネットでイタリアの新聞を読むなど注視してください。

・コロナウイルス

Coronavirus と国際正式名称の COVID-19 もメディアではよく使用されている印象です。問題は男女の性です。前者は男性形。後者は、Wikipedia によると La COVID-19 と女性形として扱われているのですが、多くの人が男性形として使用しています。このため、百科事典の Treccani も「女性形と男性形として使う」と記載しています。

・tampone

細長い綿棒によるコロナウイルスの検査を示します。10mila tamponi effettuati は、1 万人の検査が実施されたことを意味します。

contagio/infezione 感染、伝染

negativo 陰性

quarantena 隔離期間

deceduto/defunto/morto 亡くなった；死者

vaccino ワクチン

emergenza 緊急事態

contagiato 感染した；感染者

asintomatico 症状のない、無症状の

ricoverato 入院した；入院者

malattia cronica 持病、基礎疾患

terapia intensiva 集中治療

pandemia バンデミック

positivo 陽性

isolamento 隔離

dimesso 退院した；退院者

sintomo 症状

focolaio 感染源

mascherina マスク

検定ニュース

2020年秋季 第51回イタリア語検定 申込者数							
	1級	2級	準2級	3級	4級	5級	合計
札幌	0	1	4	7	16	15	43
仙台	1	2	2	11	14	15	45
新潟	0	0	3	3	4	8	18
東京	36	65	156	285	347	231	1120
横浜	13	18	27	62	62	42	224
金沢	0	0	3	6	5	7	21
名古屋	3	8	13	39	52	34	149
京都	7	8	20	37	82	32	186
大阪	11	23	58	76	114	87	369
岡山	0	3	3	7	14	17	44
広島	0	2	1	6	7	8	24
福岡	2	3	14	30	40	39	128
宮崎	1	0	1	2	2	2	8
那覇	0	0	0	4	2	3	9
Milano	イタリア会場は中止となりました。						
Roma							
合計	74	133	305	575	761	540	2388

▶第 50 回春季検定を急遽中止したことにより、お申し込みいただいていた皆様に失望と混乱を招いてしまったことは心苦しい限りです。

当協会も、これにより存続の危機に見舞われることとなりました。非営利の団体にとっては余りにも厳しい事態であるため、6 月初旬からご賛助の受付を開始いたしました。これまでに 480 名余りの方々から総額 600 万円を超えるご支援をいただくことができました。多くの方々から温かいお言葉も頂戴し、大きな励みとなっております。これからも、どうか温かい目で見守っていただければ幸いです。

イタリア語検定をひとつの目標にし、頑張っていたらっしゃる方々のためにも、なんとか前向きに打開策を探り、25 年間続けてきた検定を継続しなくては、という思いをご支援のご連絡をいただくたびに新たにしております。

▶今夏に発売予定だった 2020 年版過去問題集は、第 50 回検定試験が新型コロナウイルスにより中止となったため、出版を見送らせていただきました。なお、昨年秋の第 49 回分に関しては e-ラーニングとコンビニ・プリントでお買い求めになれます。

●事務局よりホームページ活用のごお願い www.iken.gr.jp

イタリア語検定試験のお知らせだけでなく、イタリア関係の情報・学校・リンク集など情報を掲載しております。過去の問題も e-ラーニング・システムで配信しておりますし、コンビニ・プリントで過去問も配布しています。また、情報交換の場として掲示板をご用意しています。ご利用いただければ幸いです。

<2021 年の試験日程ご案内 (予定) >

◆ 第 52 回 2021 年 3 月 7 日 (日) ◆ 第 53 回 2021 年 10 月 3 日 (日)

第 52 回試験：ローマ会場は中止となりました。なお、ミラノ会場は本紙の原稿執筆時点では実施の予定です。

『イタリア語文法 これが知りたかった!』



今回の検定対策コラムを執筆していただいた高橋 祥子先生執筆の文法書。入門・初級と中級・上級の 2 冊が Amazon でオンデマンド販売中です。

入門・初級 (2,717 円 (税込み))

中級・上級 (3,300 円 (税込み))

発行 デザインエッグ社

高橋 祥子(著)

フィオレンツァ・マルケーズィ (監修)

『イタリア語 基本単語 使い分けブック』



豊富なイメージイラストと例文で、基本単語の使い分けを詳細に解説。辞書や従来の参考書では分からなかった微妙なニュアンスの違いもこの本で理解することができます。検定対策としても活用をお勧めします。[音声 DL 付]

定価 (本体 2,700 円 + 税)

発行・発売 ベレ出版

アンナ・エスポジト、武田 明子 (著)